

コード	40405
作成年度	24年度

基本事業評価表

基本事業名称	地産地消の促進
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	次世代のしまの可能性を広げる産業づくり

課コード	124	関係課名
主管課名	学校教育課	

基本事業の目的

地元産の旬な食材を使い、安全でおいしい給食を提供し、食を通じて地域等を理解することや食文化の継承、自然の恵みや勤労の大切さを子どもたちに理解させること。また、地場産品の活用によって、地域の産業（農業・水産業等）の振興にも寄与することを目的としている。

基本事業の成果

成果指標名称 1		地元産消費額		成果指標名称 2		地元産消費量		
成果指標の積算根拠		地元産食材購入金額÷全体食材購入金額		成果指標の積算根拠		地元産食材購入量÷全体食材購入量		
目標達成年度		平成24年度		目標達成年度		平成24年度		
目標達成数値		30%		目標達成数値		30%		
年 度			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
成果指標 1	目標 A	単位	千円	34,029	33,910	34,159	31,113	29,958
	実績 B		千円	15,880	18,085	21,634	22,813	
	達成率 B/A		%	46.7	53.3	62.7	73.3	
成果指標 2	目標 A	単位	kg	81,252	77,196	74,560	70,870	66,723
	実績 B		kg	37,917	43,334	44,735	47,247	
	達成率 B/A		%	46.7	56.1	60.0	66.7	
1次評価	現状	地元産品の活用を推進しているため、達成率は年々上昇しているが、供給側が消費する側の注文、要望等に応えきれないケースが出てきている。						
	課題	天候不順等のリスクも抱えているが、消費者が必要な時に必要な食材を必要な量、供給できる体制を構築していく必要がある。						
	改善	生産者と消費側との意見交換の場を定期的に持ち、情報交換等しながら消費者のニーズに応じていくための取り組みを進めて行く。						
2次評価		食の安心安全のため地産地消は重要であり、経済を循環させて地元産業を活性化させる役割もある。今後も意見交換等を実施しながら食育運動を図ること。						
3次評価 住民等の意見								
町の対応								

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	404050101	上五島給食センター給食会地産地消事業	学校教育課	-	(途中) 事業内容を見直して継続
2	404050102	新魚目給食センター給食会地産地消事業	学校教育課	-	(途中) 事業内容を見直して継続
3	404050103	有川給食センター給食会地産地消事業	学校教育課	-	(途中) 事業内容を見直して継続
4	404050104	奈良尾給食センター給食会地産地消事業	学校教育課	-	(途中) 事業内容を見直して継続
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費					